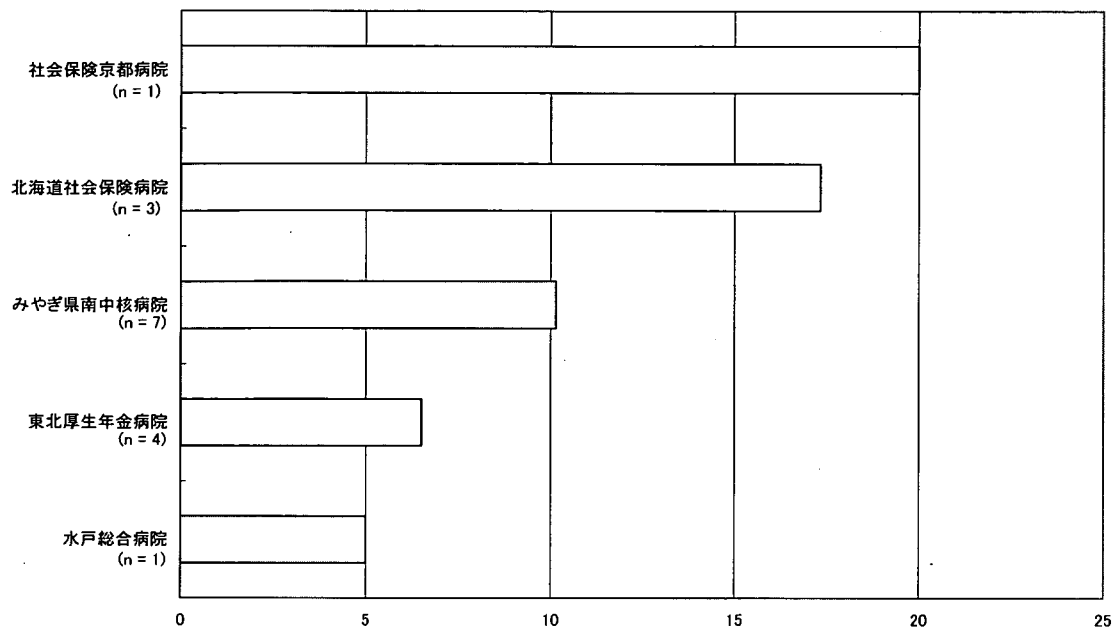


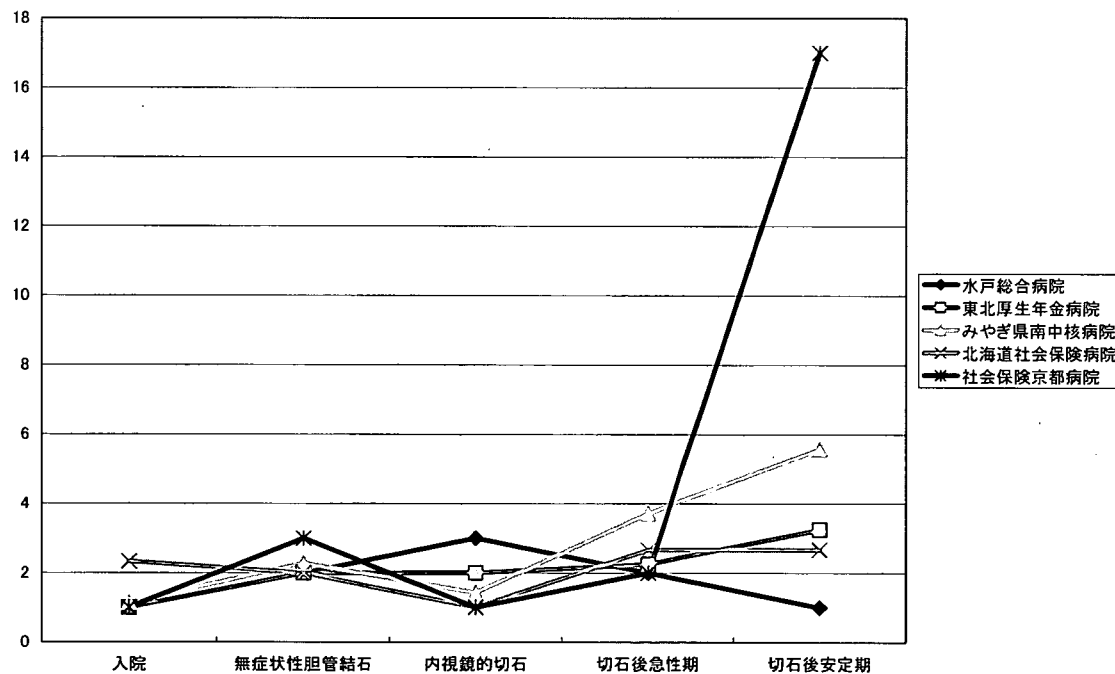
経路パターンとカバー率

パス	ルート	件数	%	カバー	カバー率
	A0-B1-A2-A3-A4-A5	43	30.1%	○	58.7%
	A0-A1-A2-A3-A4-A5	16	11.2%	○	
	A0-B1-C2-C3-C4-A2-A3-A4-A5	6	4.2%	○	
	A0-B1-A2-A3-A1-A2-A3-A4-A5	2	1.4%	○	
	A0-B1-A2-A3-A4-B2	2	1.4%	○	
	A0-C1-C2-C3-C4-A2-A3-A4-A5	2	1.4%	○	
	A0-B1-A2-A3-A4-B2	1	0.7%	○	
	A0-B1-A2-A1-A2-A1-A2-A3-A4-A5	1	0.7%	○	
	A0-B1-A2-B1-A2-A3-A4-A5	1	0.7%	○	
	A0-B1-A2-B1-A2-B1-A2-A3-A4-A5	1	0.7%	○	
	A0-B1-A2-C2-C3	1	0.7%	○	
	A0-B1-C2-C3-C4-A2-A3-A4-B2	1	0.7%	○	
	A0-B1-C2-C3-C4-A2-C2-C3-C4-A2-A3-A4-A5	1	0.7%	○	
	A0-B1-C2-C3-C4-A2-C2-C3-C4-B2	1	0.7%	○	
	A0-B1-C2-C3-C4-B2	1	0.7%	○	
	A0-B1-C2-C3-C4-C5	1	0.7%	○	
	A0-C1-C2-C3-C4-A2-A3-A4-B2	1	0.7%	○	
	A0-C1-C2-D1-C3-C4-A2-A3-A4-A5	1	0.7%	○	
	A0-C1-D1-C3-C4-A2-A3-A4-B2	1	0.7%	○	
	B1-A2-A3-A4-A5	8	5.6%	×	
	B1-C2-C3-C4-A2-A3-A4-A5	4	2.8%	×	
	A0-B1-A2-A3-A4-A5-B2	3	2.1%	×	
	A0-B1-A2-E3-A3-A4-A5	3	2.1%	×	
	A0-B1-C2-C3-C4-A5	3	2.1%	×	
	A1-A2-A3-A4-A5	3	2.1%	×	
	B1-A2-A3-A4-B2	3	2.1%	×	
	A0-B1-A2-A3-A4-A2-A3-A4-A5	2	1.4%	×	
	A0-B1-A2-C2-A3-A4-A5	2	1.4%	×	
急性胆管炎・ 総胆管結石 内視鏡治療	A0-A1-A2-A3-A4-A2-A3-A4-A5	1	0.7%	×	
	A0-A1-A2-A3-A4-A2-A3-A4-A5-B2	1	0.7%	×	
	A0-A1-A2-A3-A4-B2-A5	1	0.7%	×	
	A0-A1-A2-A3-C2-C3-C4-C5	1	0.7%	×	
	A0-A1-A2-C2-A4-A5	1	0.7%	×	
	A0-A1-E3-A2-A3-A4-A2-A3-A4-A2-A3-A4-B2	1	0.7%	×	
	A0-B1-A1-A2-A3-A4-A5	1	0.7%	×	
	A0-B1-A2-A3-A4-A2-A3-A4-A2-A3-A4-A5	1	0.7%	×	
	A0-B1-A2-A3-A4-C5	1	0.7%	×	
	A0-B1-A2-A3-A4-D1-B2	1	0.7%	×	
	A0-B1-A2-C2-A3-A4-B2	1	0.7%	×	
	A0-B1-A2-C2-A4-A5	1	0.7%	×	
	A0-B1-A2-C2-A4-B2	1	0.7%	×	
	A0-B1-A2-C2-C3-A2-A3-A4-A5	1	0.7%	×	
	A0-B1-A2-E3-A3-A4-A5-B2	1	0.7%	×	
	A0-B1-B1-A2-C2-C3-C4-A2-A3-A4-A5	1	0.7%	×	
	A0-B1-C2-A2-A3-A4-A5	1	0.7%	×	
	A0-B1-C2-C3-C2-C3-A2-A3-A4-A5	1	0.7%	×	
	A0-B1-C2-C4-A2-C2-A3-A4-A5	1	0.7%	×	
	A0-B1-D1-C3-C4-A2-A3-A4-A5	1	0.7%	×	
	A0-C1-A2-A3-A4-A5	1	0.7%	×	
	A0-C1-C2-A1-A2-A3-A1-A2-A3-A4-A5	1	0.7%	×	
	A0-C1-C2-C3-C4-A5	1	0.7%	×	
	A0-C1-C2-C3-D1-C4-A2-A3-A4-A5-B2	1	0.7%	×	
	A0-C1-E1-C2-C3-C2-C3-A4	1	0.7%	×	
	A1-A2-A3-A4-B2	1	0.7%	×	
	B1-C2-C3-C4-A2-A3-A4-B2	1	0.7%	×	
	C1-C2-C3-C4-A2-A3-A4-B2	1	0.7%	×	
	合計	143	100.0%		

平均在院日数



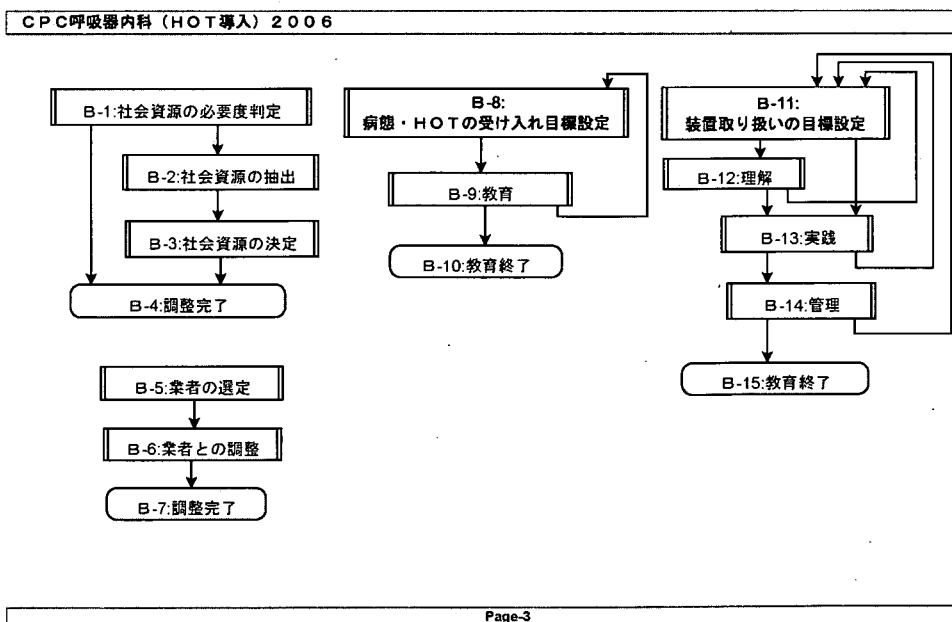
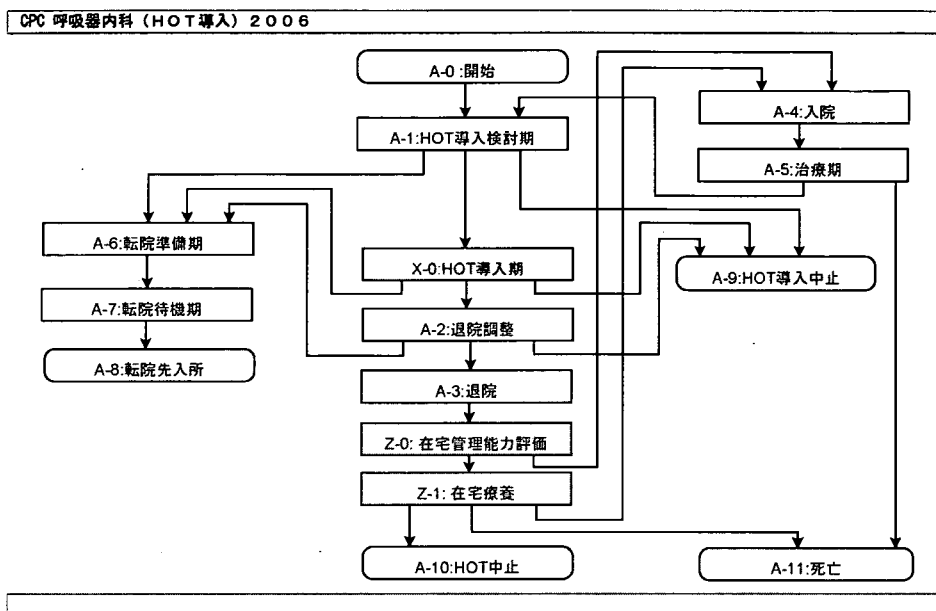
急性胆管炎・総胆管結石内視鏡治療の平均在院日数比較

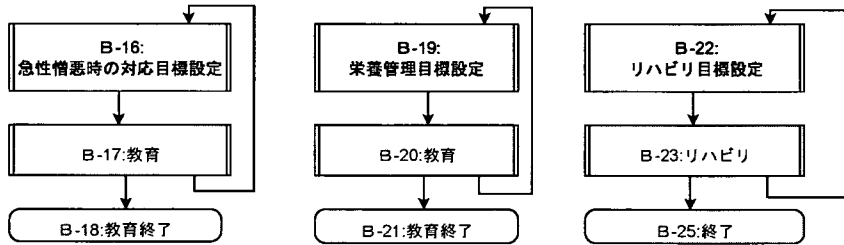
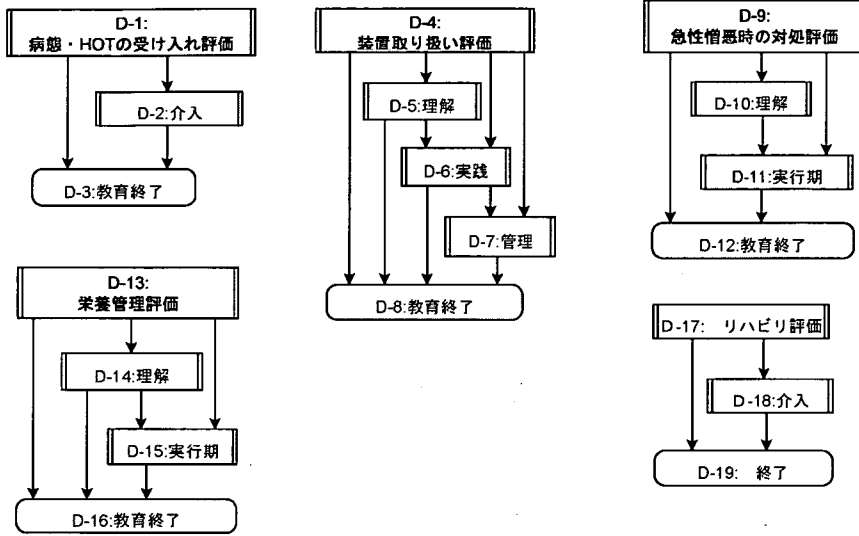


急性胆管炎・総胆管結石内視鏡治療のユニット滞在日数比較

7. 呼吸器内科

HOT 導入





ユニット移行ロジック一覧(呼吸器内科:HOT導入) 2006年

現ユニット	移行条件		移行先
A-0	HOT導入の検討が出来る	病状が安定し、退院できる身体状態である and 酸素療法から離脱不能である	A-1
A-1	転院が必要な場合	在宅の受け入れが不可能である	A-6
	HOT導入が不可能である	病態の悪化により退院が不可能である or ガイドライン上不適応な身体状態である	A-9
	HOT導入を開始できる	ガイドライン上適応する身体状態である and 酸素吸入量が設定できている and 患者本人・家族の同意がある and 病状の受け入れができています	X-0
X-0	HOT導入が完了した	MSWと販売業者の調整が完了している and 各教育項目の目標を達成している and 試験外泊が問題なく終了している	A-2
	転院が必要な場合	在宅の受け入れが不可能である	A-6
	病態の悪化	病態の悪化により退院が不可能である or ガイドライン上不適応な身体状態である	A-9
	教育プログラムの発動 (A-1からの移行と同時に発動)	MSWとの調整を開始	B-1
		業者との調整開始	B-5
		病態・HOTの受け入れ教育開始	B-8
		装置取り扱い教育開始	B-11
		急性憎悪時の対応教育	B-16
		栄養管理教育開始	B-19
		呼吸リハビリテーション開始	B-22
A-2	退院の手続き・準備が完了する	患者本人・家族の同意のもと退院日時が決定するand 退院に必要な書類作成が完了している	A-3
	転院が必要な場合	在宅の受け入れが不可能である	A-6
	病態の悪化	病態の悪化により退院が不可能である or ガイドライン上不適応な身体状態である	A-9
A-3	退院日を迎えた	身体状態の変化がなく、退院日を迎えた	A-4
Z-0	HOT管理プログラムを開始できる	各教育項目の評価が完了している	Z-1
	入院を要する身体状態である	入院を要する疾患の発症or原疾患の悪化	A-4
	在宅教育プログラムの発動 (A-3からの移行と同時に発動)	病態・HOTの受け入れ評価・教育開始	D-1
		装置取り扱い能力評価・教育開始	D-4
		急性憎悪時の対応能力評価・教育開始	D-9
		栄養管理能力評価・教育開始	D-13
	在宅呼吸リハビリテーション開始	D-17	
Z-1	入院を要する身体状態である	入院を要する疾患の発症or原疾患の悪化	A-4
	死亡した	死亡診断が完了する	A-11
	HOTが中止できる身体状態である	ガイドライン上不適応な身体状態である	A-10
A-4	入院手続きが完了する	入院手続きが完了し、治療が開始される	A-5
A-5	身体状態が安定してる	積極的な治療が終了し、病状が安定している and 1ヶ月以内に退院可能である	A-1
	死亡した	死亡診断が完了する	A-11
A-6	転院の手続きが完了する	患者本人・家族の同意のもと転院場所・日時が決定する and 手 続き上必要な書類作成が完了する	A-7
A-7	転院日を迎えた	身体状態の変化がなく、転院日を迎えた	A-8

ユニット移行ロジック一覧(呼吸器内科:HOT導入) 2006年

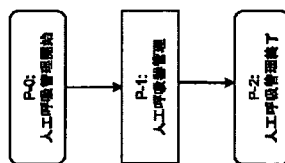
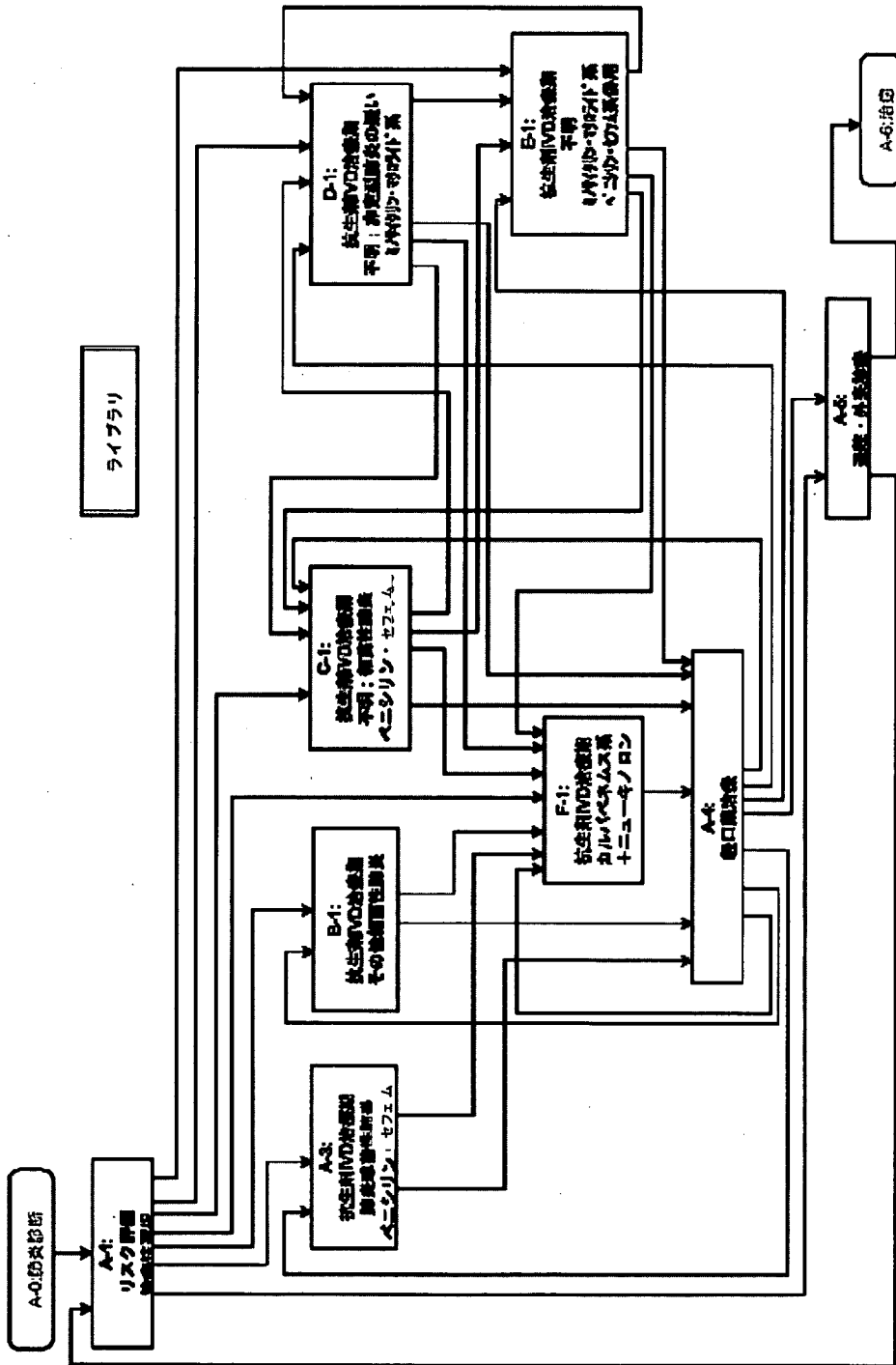
現ユニット	移行条件		移行先
B-1	MSWへの連絡完了	看護師により必要な社会資源が抽出できている 患者本人と家族の同意のもとMSWへ連絡が完了する and	B-2
B-2	必要な社会資源が確定している	患者本人・家族とMSWの面談にて必要な社会資源が確定している	B-3
B-3	社会資源が決定し申請が完了している	活用する社会資源への申請と書類作成が べて完了している and 患者本人・家族の同意のもとかかりつけ医と訪問看護ステーションが決定している	B-4
B-5	販売業者への連絡が済んでいる	販売業者を選定し、連絡が済んでいる	B-6
B-6	設置型酸素濃縮装置の配置日時が決定している	販売業者と患者本人・家族との面談と説明が完了している and 設置型酸素濃縮装置の設置日時が決定している	B-7
B-8	到達目標が設定できている	病態・HOTの受け入れについて、 到達目標を患者本人・家族とともに設定できている 到	B-9
B-9	目標の再設定が必要である	現状の目標到達が不可能であり、再設定が必要である	B-8
	受け入れができていない	設定した目標に到達した	B-10
B-11	到達目標が設定できている	装置の取り扱いについての到達目標を患者本人・家族とともに設定できている	B-12
	到達目標が再設定できている	装置の取り扱いについての到達目標を患者本人・家族とともに再設定できている and装置の取り扱いへの理解に関する教育が完了している	B-13
B-12	目標の再設定が必要である	目標到達が不可能であり、再設定が必要である	B-11
	装置の取り扱いを理解している	患者本人・家族が装置の取り扱いへが理解できている	B-13
	目標に到達した	設定した目標に到達した	B-15
B-13	目標の再設定が必要である	目標到達が不可能であり、再設定が必要である	B-11
	装置を危険なく操作できている	患者本人・家族が指導内容通りに装置を操作できている	B-14
	目標に達成した	設定していた目標に達成した	B-15
B-14	目標の再設定が必要である	目標到達が不可能であり、再設定が必要である	B-11
	装置を危険なく管理できている	設定していた目標に到達した	B-15
B-16	到達目標が設定できている	急性憎悪時への対応に関する理解について 到達目標を患者本人と家族とともに設定できている	B-17
B-17	目標の再設定が必要である	目標到達が不可能であり、再設定が必要である	B-16
	急性憎悪の対応を理解している	設定した目標に到達した	B-18
B-19	到達目標が設定できている	栄養管理に関する理解への到達目標について 者本人・家族とともに設定できている 患	B-23
B-20	目標の再設定が必要である	現状の目標到達が不可能であり、再設定が必要である	B-19
	栄養管理を理解している	設定した目標に到達した	B-21
B-22	到達目標が設定できている	呼吸リハビリテーションについての到達目標を 者本人・家族の同意のもとに設定できている 患	B-23
B-23	目標の再設定が必要である	現状の目標到達が不可能であり、再設定が必要である	B-22
	到達目標に達した	設定した身体活動能力に達成した and呼吸法・呼吸助法・自己排痰法を習得している	B-24

ユニット移行ロジック一覧(呼吸器内科:HOT導入) 2006年

現ユニット	移行条件		移行先
D-1	病態・HOTの受け入れが曖昧である	患者・家族の病態・HOTの受け入れが曖昧である and 病態・HOTの受け入れに関する理解について、 到達目標を患者本人・家族とともに設定できている	D-2
	受け入れができていない	患者・家族が病態・HOTを受け入れることができていない	D-3
D-2	受け入れができていない	到達目標に達した	D-3
D-4	装置の理解が曖昧である	患者本人・家族が装置の取り扱いへの理解が曖昧である and 装置取り扱いに関する到達目標について、 患者本人・家族とともに設定できている	D-5
	装置の使用方法が曖昧である	患者本人・家族が装置を指導内容に沿って 使用できていない and 装置取り扱いに関する到達目標について、 患者本人・家族とともに設定できている	D-6
	装置の管理方法が曖昧である	患者本人・家族が装置を指導内容に沿って 管理できていない and 装置取り扱いに関する到達目標について、 患者本人・家族とともに設定できている	D-7
	装置の取扱いが問題ない	患者本人・家族が装置の取り扱いを理解できている and 指導内容に沿って取り扱いが出来る	D-8
D-5	装置の取り扱いを理解している	患者本人・家族が装置の取り扱いを理解できている	D-6
	目標を達成した	目標が装置を理解することである and 設定した目標に到達した	D-8
D-6	装置を危険なく使用できる	患者本人・家族が指導内容に沿って装置を使用できている	D-7
	目標を達成した	目標が装置を使用できることである and 設定した目標に到達した	D-8
D-7	装置を危険なく管理できる	患者本人・家族が装置を指導内容に沿って管理できている and 緊急時の対応が言える	D-8
D-9	急性憎悪時の対処への理解が曖昧である	患者本人・家族が急性憎悪時の対処方法への 理解が曖昧である and 急性憎悪の対応に関する理解の到達目標が 患者本人・家族とともに設定できている	D-10
	急性憎悪時の対処が行える	患者本人・家族が急性憎悪時の対処方法を理解している and 急性憎悪時の経験がない	D-11
	急性憎悪時の対処が未経験である	患者本人・家族が急性憎悪時の対処方法を理解している and 急性憎悪時を経験し、指導内容に沿って対処できている	D-12
D-10	急性憎悪時の対処を理解している	患者本人・家族が急性憎悪時の対応方法を理解している	D-11
D-11	急性憎悪時を経験し、危険なく対処できている	急性憎悪時を経験し、実際に指導内容に沿って 対処できている	D-12
D-13	栄養管理の理解が曖昧である	患者本人・家族の栄養管理への理解が曖昧である and 栄養管理に関する到達目標について、 患者本人・家族とともに設定できている	D-14
	栄養管理の実行が曖昧である	患者本人・家族が栄養管理を指導内容に沿って 実行できていない and 栄養管理に関する到達目標について、患者本人・家族の 同意をもとに設定できている	D-15
	栄養管理を理解し、実行できている	患者本人・家族が栄養管理を理解している and 指導内容に沿って実行できている	D-16
D-14	栄養管理の理解ができていない	患者本人・家族が栄養管理を理解している	D-15
	目標を達成した	目標が理解することである and 設定した目標に到達した	D-16
D-15	栄養管理を実行できている	設定した目標に到達した	D-16
D-17	リハビリが必要である	呼吸リハビリテーションが必要である and 患者本人・家族のリハビリに対する同意がある	D-18
	リハビリが必要ない	呼吸リハビリテーションが必要ない身体状態である	D-19
D-18	リハビリが必要ない	呼吸リハビリテーションが必要ない、 または不可能な身体状態となった	D-19

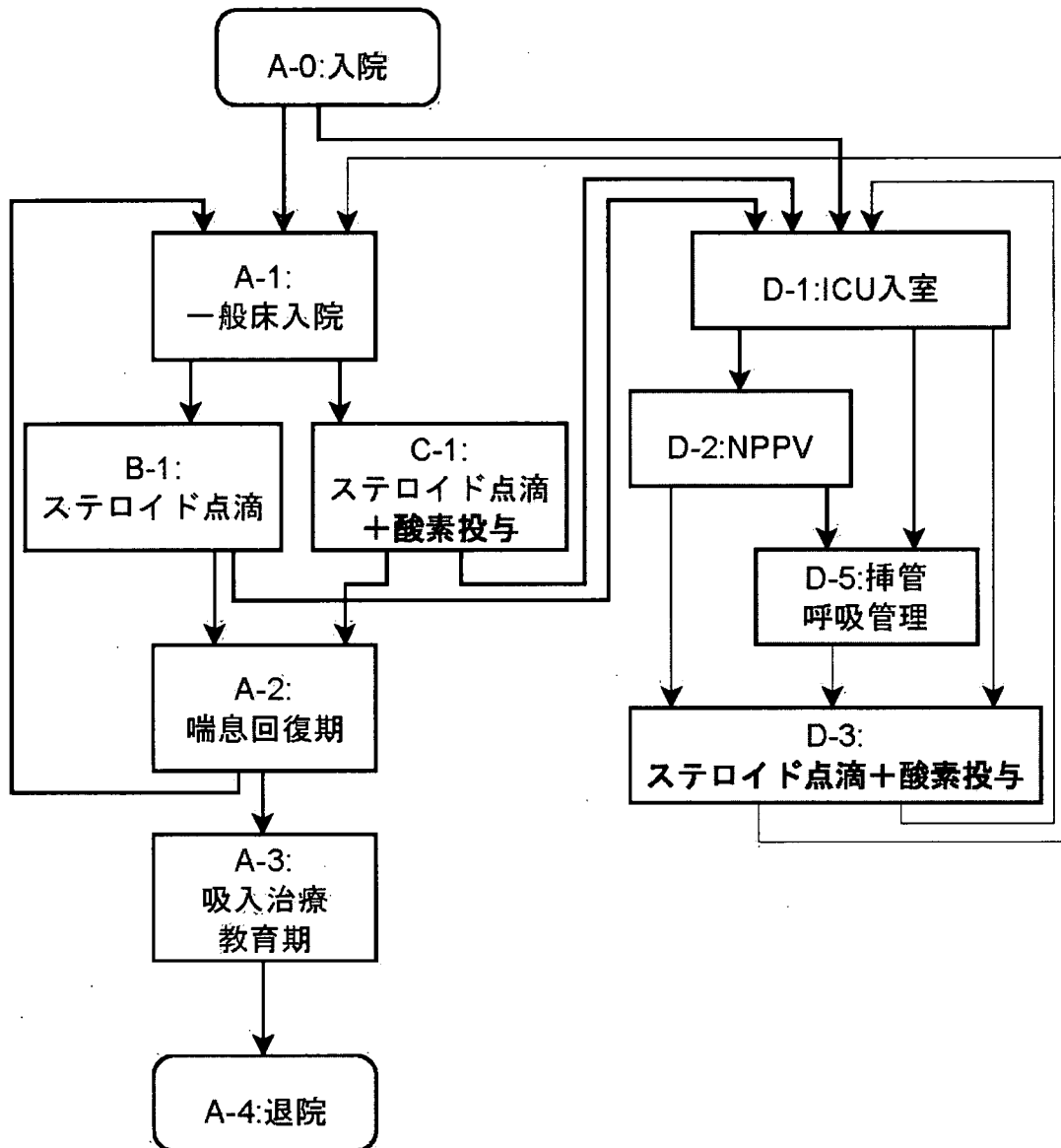
(注) HOT導入パスは、検証調査を実施可能な施設がなく、今年度臨床調査データは得られなかった。

市中肺炎（参考：開発中）



現ユニット	ユニット移行条件	移行先ユニット
A-1	入院の必要あり(重症肺炎p20) (①男性70歳以上、女性75歳以上、②BUN21mg/dlまたは脱水、③SpO2<90%、④意識障害あり、⑤血圧90mmHg以下 :①~⑤4項目以上) 以下の5つから選択(A-3,B-1,C-1,D-1,E-1)	
	肺炎球菌性肺炎(隠性喀痰のグラム染色で肺炎球菌が観察されるp26) ⇒	A-3
	その他の細菌性肺炎(隠性喀痰のグラム染色でその他の原因菌が観察されるp26) ⇒	B-1
	起炎菌不明:細菌性肺炎疑い (①60歳未満、②基礎疾患がない、あるいは軽微、③肺炎が集団内で流行、④頑固な咳、⑤比較的序脈、⑥胸部理学所見に乏しい、⑦抹消白血球数が正常、⑧スリガラス状陰影またはskip lesion、⑨グラム染色で原因菌が見当たらない :①~⑥2項目以下and①~⑨4項目以下) ⇒	C-1
	起炎菌不明:非定型肺炎疑い (①60歳未満、②基礎疾患がない、あるいは軽微、③肺炎が集団内で流行、④頑固な咳、⑤比較的序脈、⑥胸部理学所見に乏しい、⑦抹消白血球数が正常、⑧スリガラス状陰影またはskip lesion、⑨グラム染色で原因菌が見当たらない :①~⑥3項目以上and①~⑨5項目以上) ⇒	D-1
	起炎菌不明:細菌性肺炎、非定型肺炎の鑑別不可能(上記以外) ⇒	E-1
	入院の必要あり(中等症肺炎 and (脱水症状あり or 外来通院困難 or 家庭に看護者なし or 肺炎治療に影響を及ぼす基礎疾患・合併症あり or その他医師の判断) ⇒	F-1
	入院の必要なし((軽症肺炎 or 中等症肺炎) and 脱水症状なし and 外来通院可能 and 家庭に看護者あり and 肺炎治療に影響を及ぼす基礎疾患・合併症なし) ⇒	A-5
A-3	7日後 体温<37.5℃ and 症状改善 and CRP改善 and X線改善 and 白血球正常化 and 酸素吸入必要なし(SpO2>95%) and 腸管機能問題なし ⇒	A-4
	3、7日後 発熱・症状あり and 白血球、CRP、XP:残存または悪化 (SpO2≤93% or 酸素化不良の徴候あり) and 酸素投与量○○以上 ⇒	F-1
	⇒	G-1
B-1	7日後 体温<37.5℃ and 症状改善 and CRP改善 and X線改善 and 白血球正常化 and 酸素吸入必要なし(SpO2>95%) and 腸管機能問題なし ⇒	A-4
	3、7日後 発熱・症状 or ((白血球 or CRP or XP):残存 or 悪化) (SpO2≤93% or 酸素化不良の徴候あり) and 酸素投与量○○以上 ⇒	F-1
	⇒	G-1
C-1	7日後 体温<37.5℃ and 症状改善 and CRP改善 and X線改善 and 白血球正常化 and 酸素吸入必要なし(SpO2>95%) and 腸管機能問題なし ⇒	A-4
	3日後 (発熱・症状 or ((白血球 or CRP or XP):残存 or 悪化)) and 起炎菌不明:非定型肺炎疑い ⇒	D-1
	3日後 (発熱・症状 or ((白血球 or CRP or XP):残存 or 悪化)) and 起炎菌不明 ⇒	E-1
	3、7日後 発熱・症状 or ((白血球 or CRP or XP):悪化) (SpO2≤93% or 酸素化不良の徴候あり) and 酸素投与量○○以上 ⇒	F-1
	⇒	G-1
D-1	7日後 体温<37.5℃ and 症状改善 and CRP改善 and X線改善 and 白血球正常化 and 酸素吸入必要なし(SpO2>95%) and 腸管機能問題なし ⇒	A-4
	3日後 (発熱・症状 or ((白血球 or CRP or XP):残存 or 悪化)) and 起炎菌不明:細菌性肺炎疑い ⇒	C-1
	3日後 (発熱・症状 or ((白血球 or CRP or XP):残存 or 悪化)) and 起炎菌不明 ⇒	E-1
	3、7日後 発熱・症状 or ((白血球 or CRP or XP):悪化) (SpO2≤93% or 酸素化不良の徴候あり) and 酸素投与量○○以上 ⇒	F-1
	⇒	G-1
E-1	7日後 体温<37.5℃ and 症状改善 and CRP改善 and X線改善 and 白血球正常化 and 酸素吸入必要なし(SpO2>95%) and 腸管機能問題なし ⇒	A-4
	3日後 (発熱・症状 or ((白血球 or CRP or XP):残存 or 悪化)) and 起炎菌不明:細菌性肺炎疑い ⇒	C-1
	3日後 (発熱・症状 or ((白血球 or CRP or XP):残存 or 悪化)) and 起炎菌不明:非定型肺炎疑い ⇒	D-1
	3、7日後 発熱・症状 or ((白血球 or CRP or XP):悪化) (SpO2≤93% or 酸素化不良の徴候あり) and 酸素投与量○○以上 ⇒	F-1
	⇒	G-1
F-1	7日後 体温<37.5℃ and 症状改善 and CRP改善 and X線改善 and 白血球正常化 and 酸素吸入必要なし(SpO2>95%) and 腸管機能問題なし ⇒	A-4
	2日後 発熱・症状 or ((白血球 or CRP or XP):悪化) (SpO2≤93% or 酸素化不良の徴候あり) and 酸素投与量○○以上 ⇒	薬剤変更
	⇒	G-1
A-4	経口薬にしても悪化せず ⇒	A-5
	体温<37.5℃ and 症状改善 and ((白血球 or CRP or XP):正常) (発熱・症状 or ((白血球 or CRP or XP):悪化)) and 肺炎球菌性肺炎 ⇒	A-3
	(発熱・症状 or ((白血球 or CRP or XP):悪化)) and その他細菌性肺炎 ⇒	B-1
	(発熱・症状 or ((白血球 or CRP or XP):悪化)) and 起炎菌不明:細菌性肺炎疑い ⇒	C-1
	(発熱・症状 or ((白血球 or CRP or XP):悪化)) and 起炎菌不明:非定型肺炎疑い ⇒	D-1
	(発熱・症状 or ((白血球 or CRP or XP):悪化)) and 起炎菌不明:細菌性肺炎、非定型肺炎の鑑別不可能 ⇒	E-1
	(発熱・症状 or ((白血球 or CRP or XP):悪化)) and 重症肺炎 ⇒	F-1
A-5	発熱・症状 or ((白血球 or CRP or XP):悪化) ⇒	A-1
	経口薬終了しても悪化せず ⇒	A-6
	体温<37.5℃ and 症状改善 and ((白血球 or CRP or XP):正常) ⇒	
G-1	(SpO2>93% or 酸素化不良の改善) and 肺炎球菌性肺炎 ⇒	A-3
	(SpO2>93% or 酸素化不良の改善) and その他細菌性肺炎 ⇒	B-1
	(SpO2>93% or 酸素化不良の改善) and 起炎菌不明:細菌性肺炎疑い ⇒	C-1
	(SpO2>93% or 酸素化不良の改善) and 起炎菌不明:非定型肺炎疑い ⇒	D-1
	(SpO2>93% or 酸素化不良の改善) and 起炎菌不明:細菌性肺炎、非定型肺炎の鑑別不可能 ⇒	E-1
	(SpO2>93% or 酸素化不良の改善) and 重症肺炎 ⇒	F-1

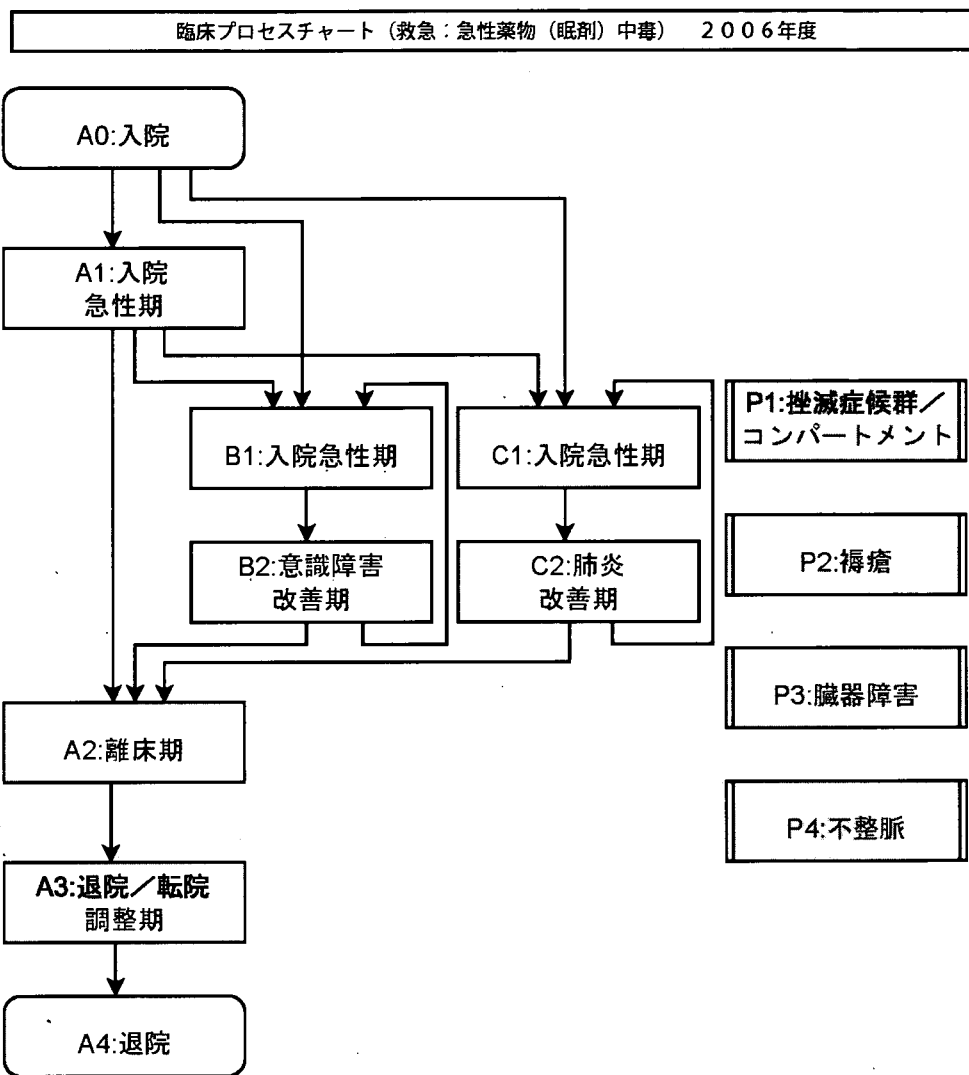
喘息（参考：開発中）



呼吸器内科：喘息コンテンツの移行ロジックは現在開発中である。

8. 救急

急性薬物（眠剤）中毒



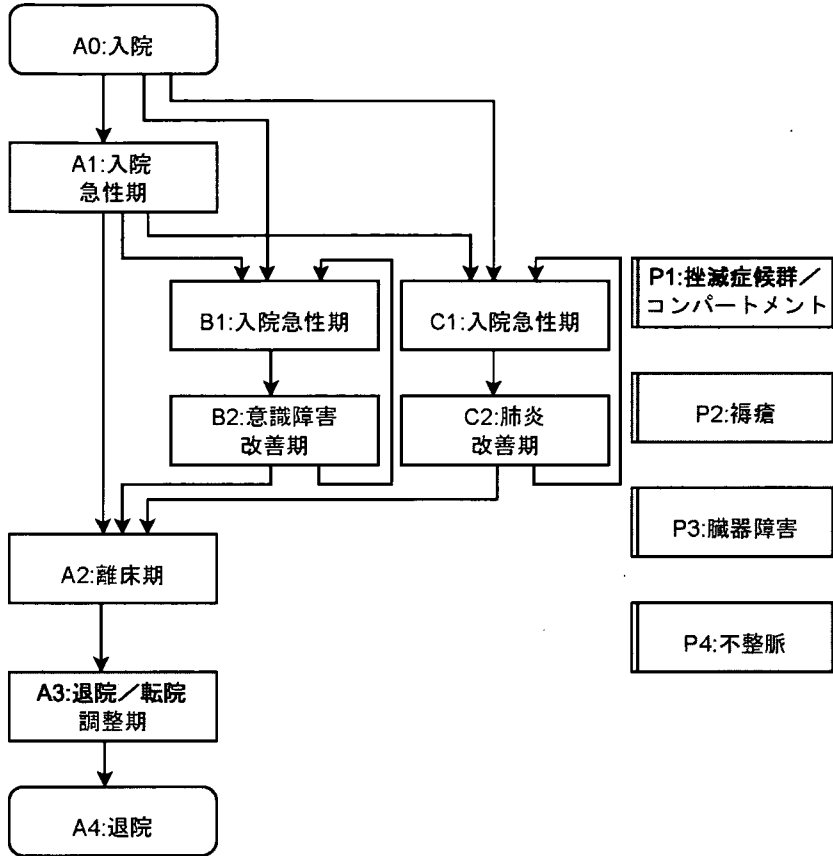
ユニット移行ロジック一覧 (急性薬物(眠剤)中毒)

2006年度

※2005年度版と同一

現ユニット	ユニット移行条件	移行先
A-0	気管挿管が不要 意識障害のため気管挿管を要した 誤嚥性肺炎のため気管挿管を要した	A-1へ B-1へ C-1へ
A-1	気道閉塞がない and 呼吸が安定している and 意識レベル低下がない and 血圧脈拍が保たれ十分な尿量が得られる and 肺炎の兆候がない and 薬剤排泄(薬用炭便)ありが望ましい(必須としない) 意識レベル低下があり気管挿管を要する 挿管を要する肺炎を合併	A-2へ 気管挿管してB-1へ 気管挿管してC-1へ
A-2	バイタルサインが安定し、精神的に安定し、病棟内歩行可	A-3へ
A-3	合併症の併発がないか治療が終了 and 精神科治療終了または今後の診療計画が決定 and 退院または転院の受け入れ環境の完了	A-4へ
B-1	自発呼吸が安定している and 肺炎の兆候がない and 血圧脈拍が保たれ十分な尿量が得られる and 意識レベルが改善する and 薬剤排泄(薬用炭便)ありがのぞましい	抜管してB-2へ
B-2	意識レベルが安定している and 抜管後気道閉塞なく自発呼吸が安定している and 血液ガス所見が良好で肺炎の所見が認められない or 意識レベル低下による気道閉塞の所見がある or 自発呼吸が不十分	A-2へ 再挿管してB-1へ
C-1	肺炎の所見が改善し and 血液ガス所見が改善し and 血圧脈拍が保たれ十分な尿量が得られる and 意識レベル低下がない and 薬剤排泄(薬用炭便)ありが望ましい(必須としない)	C-2へ
C-2	意識レベルが安定し and 抜管後気道閉塞がなく自発呼吸が安定 and 血液ガス所見が良好で肺炎の再燃がない 血液ガスが不良、あるいは自発呼吸が不十分	A-2へ 再挿管してC-1へ
A-1	意識障害時の同一体位によるコンパートメント症候群/挫滅症候群がある	P-1*の併用
B-1	意識障害時の同一体位による褥瘡がある	P-2*の併用
B-2	肝障害、腎障害などの臓器障害の徴候がある	P-3*の併用
C-1	向精神薬によるQT延長などの不整脈	P-4*の併用
C-2		
共通		

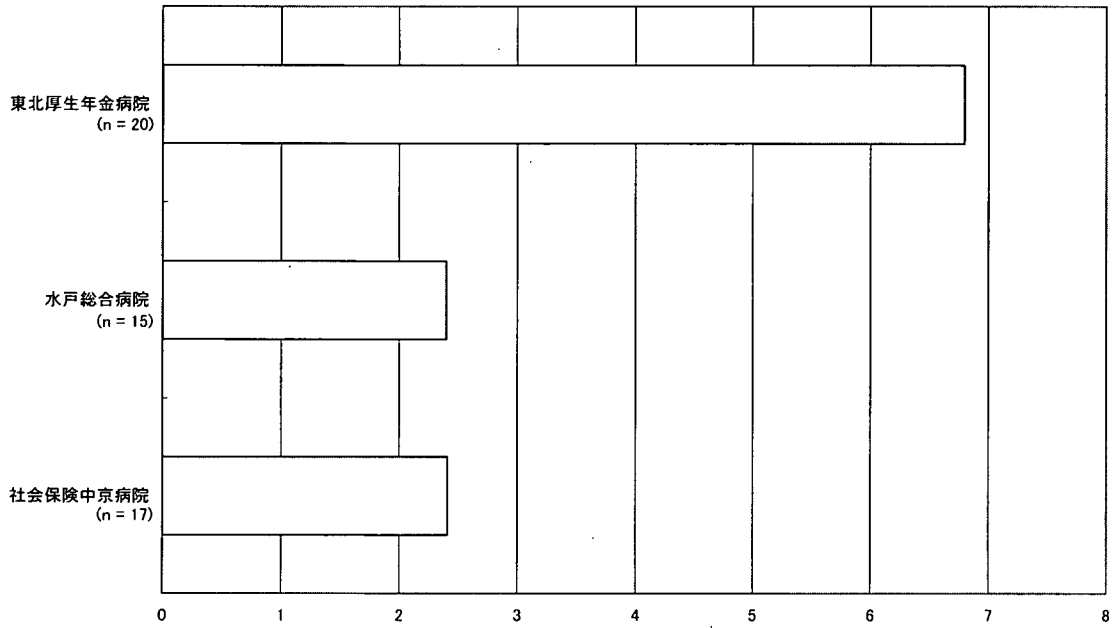
*印のユニットは、メインプロセスの流れに並列して走るユニット(例:褥そうケアなど)。



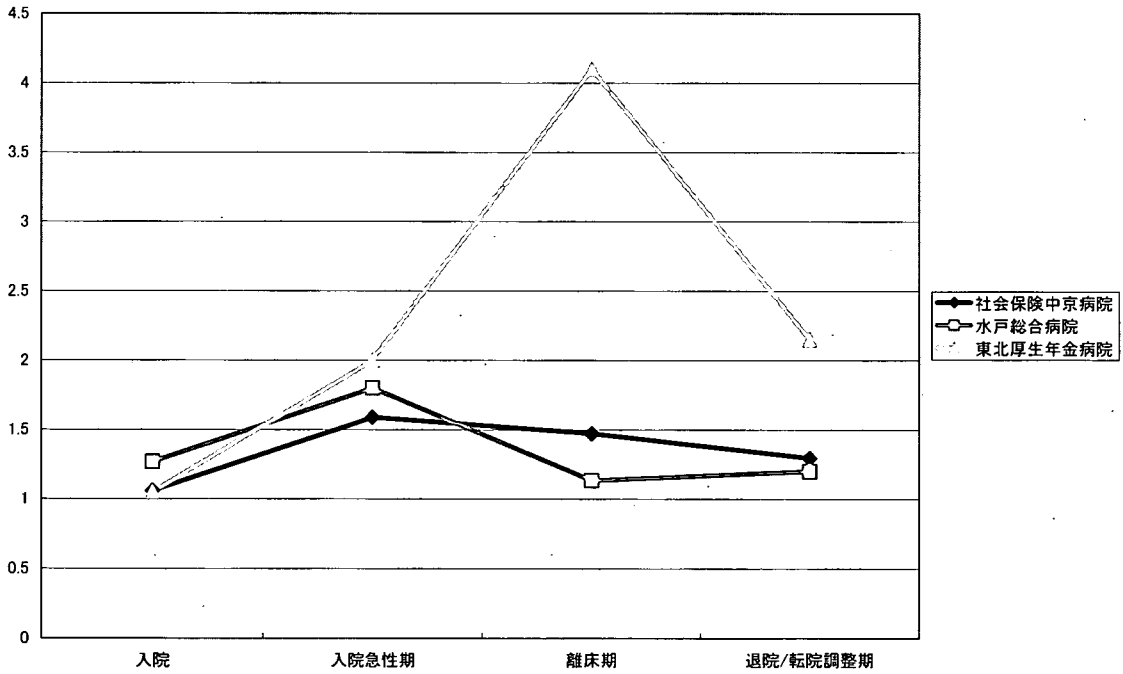
経路パターンとカバー率

パス	ルート	件数	%	カバー	カバー率
急性薬物(眠剤)中毒	A0-A1-A2-A3-A4	42	76.4%	○	96.4%
	A0-B1-B2-A2-A3-A4	8	14.5%	○	
	A0-A1	1	1.8%	○	
	A0-A1-B1-B2-A2-A3-A4	1	1.8%	○	
	A0-A1-C1-C2-A2-A3-A4	1	1.8%	○	
	A0-B1-B2-B2-A3-A4	2	3.6%	×	
	合計	55	100.0%		

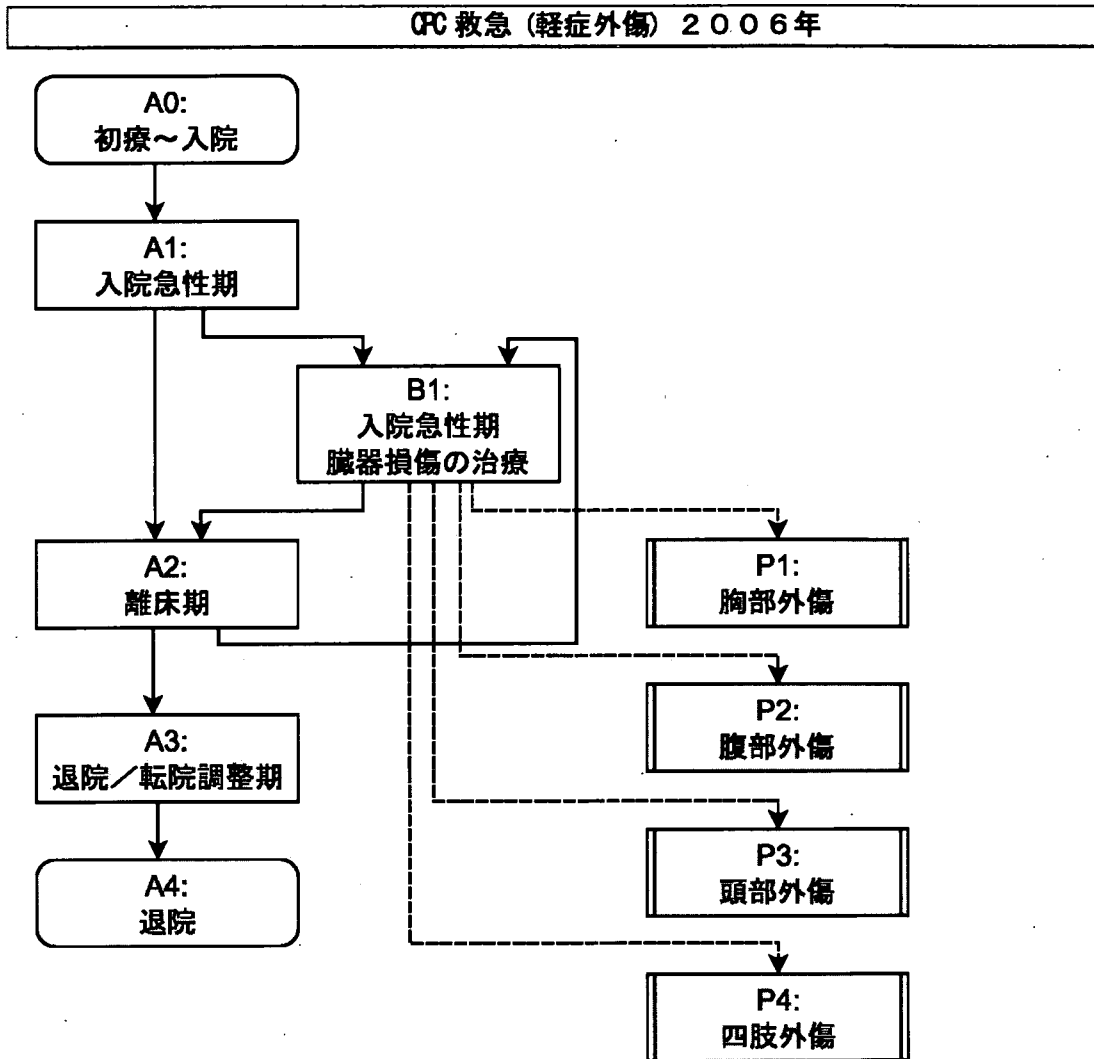
平均在院日数



急性薬物（眠剤）中毒の平均在院日数比較



急性薬物（眠剤）中毒のユニット滞在日数比較

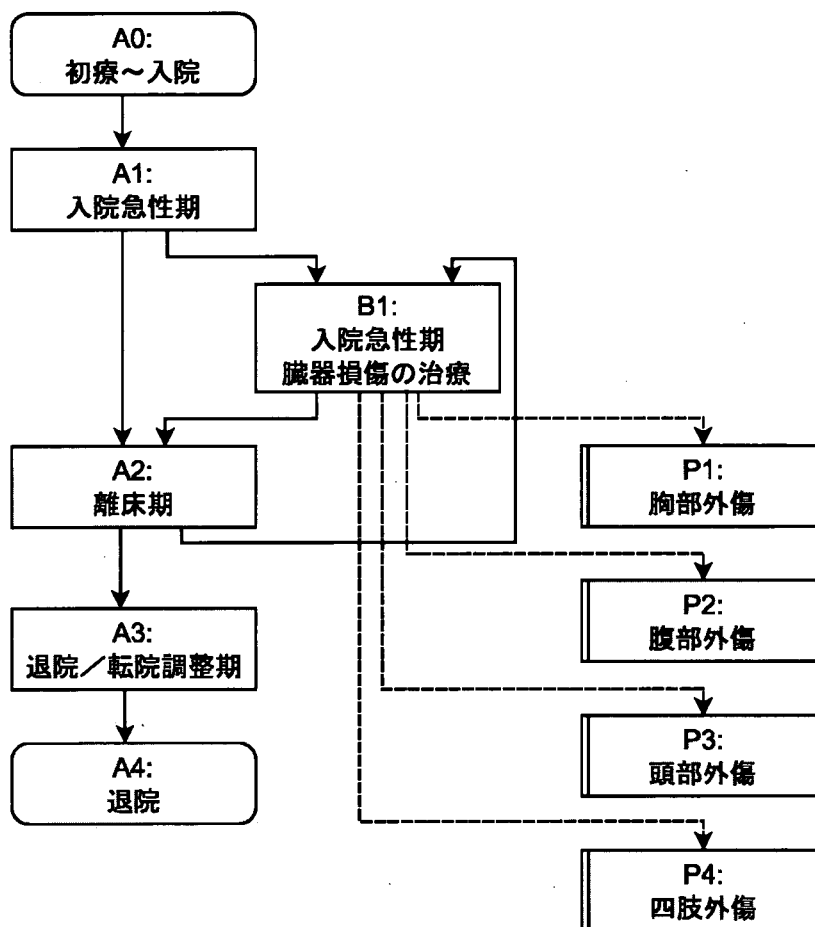


ユニット移行ロジック一覧(救急:軽症外傷)

2006年

現ユニット	ユニット移行条件	移行先ユニット
A-0	入院(経過観察目的) (外傷は軽微でも、既往疾患のリスクもしくは感染症がある) (健忘、吐気嘔吐、頭痛、腹痛、軽度の低酸素血症、発熱の症状がある) (画像等のスクリーニングで臓器損傷、骨折は指摘できない)	A-1へ
A-1	①呼吸、循環に異常はない ②A-0の症状の増悪がなく、新たな症状が出ていない ③腹部理学的所見に異常がない ④十分な尿量が得られる(維持輸液量以上の輸液は必要ない) ⑤再検した血液検査、画像所見などに異常がない ⑤意識清明で会話や人格はいつもと変わらない ①~⑤が達成	A-2 B-1
	異常所見が出現	臓器損傷に対する治療を開始
A-2	①自立座位、歩行が可能 ②自覚症状の増悪がない ③食事摂取が問題なくできる ④経口摂取主体で(または抜針後)、尿量が得られている ①~④が達成	A-3 B-1
	異常所見が出現	臓器損傷に対する治療を開始
A-3	①臓器損傷がないか、治療が終了 ②退院調整の完了(外来治療の要否判断を含む) ①~②の達成	A-4
B-1	胸部外傷が明らかになった	P-1の併用
	腹部外傷が明らかになった	P-2の併用
	頭部外傷が明らかになった	P-3の併用
	四肢外傷が明らかになった	P-4の併用
	①バイタルサインの安定 ②臓器損傷(Pユニット)の治療が終了 ①~②が達成	A-2

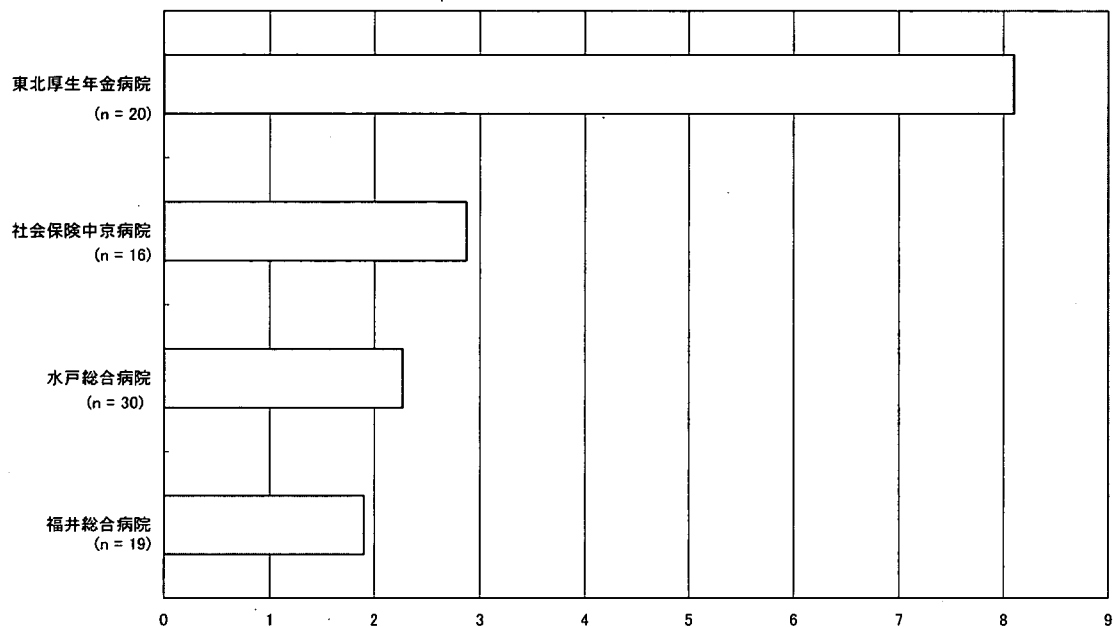
QPC 救急 (軽症外傷) 2006年



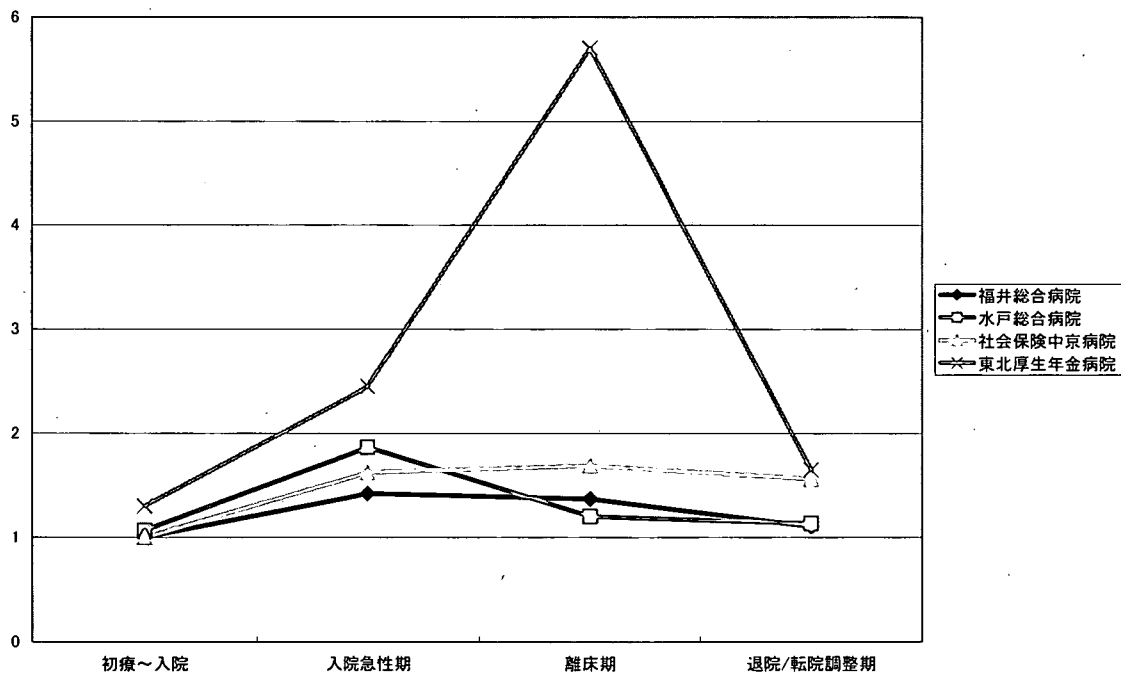
経路パターンとカバー率

パス	ルート	件数	%	カバー	カバー率
軽症外傷(経過観察)	A0-A1-A2-A3-A4	65	92%	○	100%
	A0-A1-B1-A2-A3-A4	6	8%	○	
	合計	71	100%		

平均在院日数



軽度外傷の平均在院日数比較

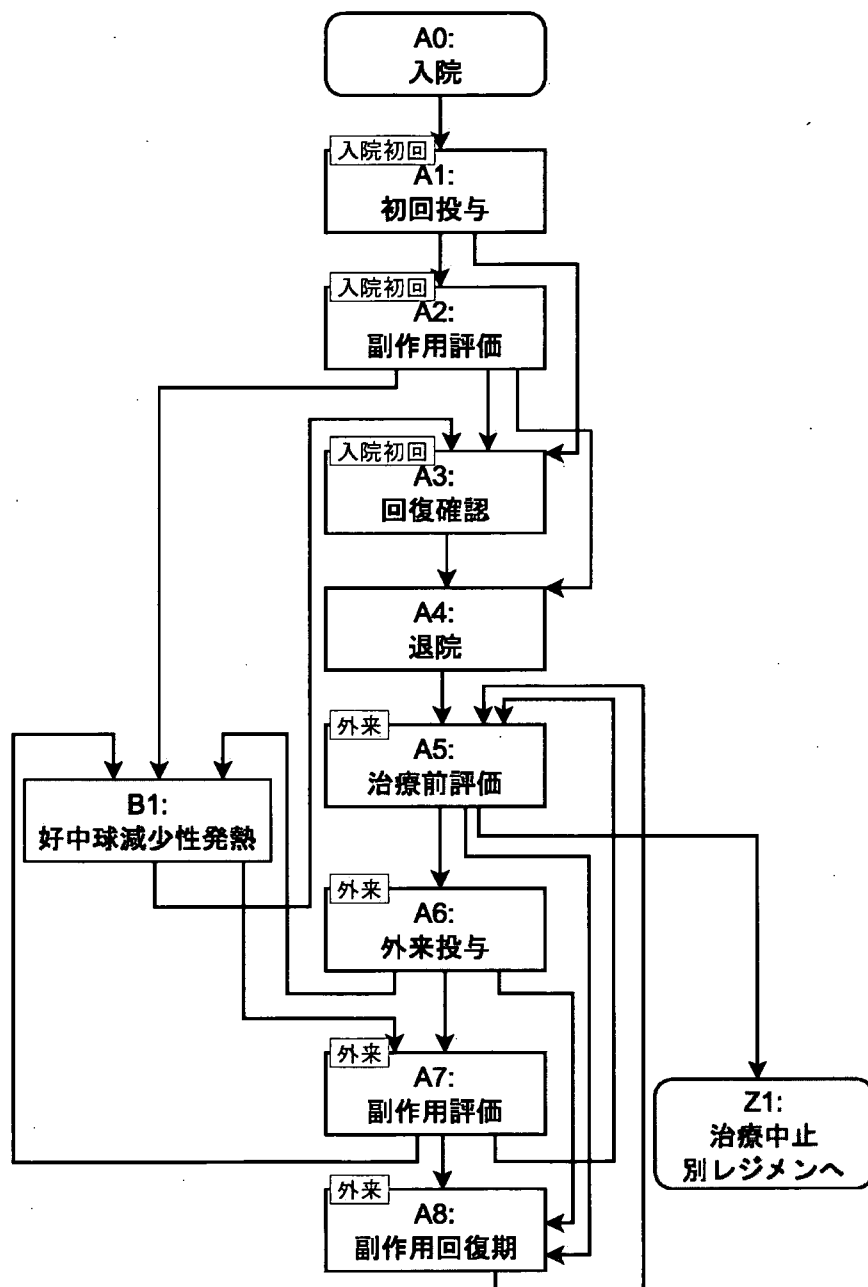


軽度外傷のユニット滞在日数比較

9. がん

乳がん化学療法 (AC療法)

臨床プロセスチャート (がん領域：乳がん化学療法 (AC療法) 2006年度)



ユニット移行ロジック一覧（乳がん化学療法（AC療法））

2006

現ユニット	ユニット移行条件	移行先ユニット	
A-0	化学療法の説明・同意が得られている and 化学療法に対する意欲が見られる and 血液検査値に異常がない and 心機能に異常がない and 感染がない or 主治医の判断	A-1	
A-1	AC投与後バイタルサインが安定 上記以外	A-2 A-3	
A-2	38.0度以上 and 好中球500/ μ l以下 有害事象がNCI-CTC Grade 1以下 or 主治医の判断 上記以外（例えば、Grade2以上の有害事象があるとき）	B-1 A-4 A-3	
A-3	全身状態が安定している and 有害事象からの回復を確認	A-4	
A-4	退院後の生活に支障がない and 退院後の生活の注意事項を理解している or 主治医の判断	A-5	
A-5	【再発治療以外】 38.0度以上 and 好中球500/ μ l以下 化学療法に対する意欲が見られる and 血液検査値に異常がない and 心機能に異常がない and 感染がない or 主治医の判断 上記に該当しない	B-1 A-6 A-8	
	【再発治療の場合】 治療効果が認められる（non-PD、再発乳癌の場合） 治療効果がない（PD、再発乳癌の場合） or 患者が有害事象に耐えられない、等で中止の希望がある	A-6 Z-1	
	A-6	AC投与後バイタルサインが安定 or 主治医の判断 上記以外	A-7 A-8
	A-7	全身状態が安定している and 有害事象がNCI-CTC Grade 1以下 or 主治医の判断 38.0度以上 and 好中球500/ μ l以下 上記以外（例えば、Grade2以上の有害事象があるとき）	A-5 B-1 A-8
	A-8	全身状態が安定している and 有害事象からの回復を確認	A-5
B-1	38.0度未満 and 好中球500/ μ l以上を確認（A-2より）	A-3	
	38.0度未満 and 好中球500/ μ l以上を確認（A-7より）	A-7	